

競技注意事項

1. 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項に準じて行われる。
2. 競技者招集方法について
 - ①招集場所は、本競技場雨天走路内に設ける。
 - ②招集時刻（最終点呼について）
 - ・開始・完了時刻は競技日程時刻に示してある時刻とする。
 - ・招集開始時刻には招集場所に集合すること。招集完了時刻に遅れた場合は棄権したものとする。
（ハンマー投は投擲場で棒高跳は競技場所での競技開始60分前から行う）
 - ・点呼の際は、必ずナンバーカードが付いたユニホームとスパイクピンを審判員に見せること。
 - ③最終点呼後、競技場所への誘導は係員の指示で行う。
 - ④スタートリストはプログラム記載の招集開始時刻60分前より掲示する。
 - ⑤欠場する場合は、スタートリストに招集開始時刻までに×印を付け、欠場届けを出すこと。
 - ⑥決勝を欠場する場合は必ず「欠場届」を予選・準決勝の正式記録発表後15分以内に競技者係に提出すること。次記録上位者を決勝進出方式とし、決勝進出者を繰り上げる。欠場届は招集所に置く。
 - ⑦リレーのオーダー用紙の提出時刻は、第1組目の招集開始時刻1時間前までに招集所に提出すること。オーダー提出後の変更は認めない。変更する際は医師の証明が必要になる。
3. ナンバーカードについて
 - ①ナンバーカードは胸・背部につけ、トラック種目に出場する競技者は右腰部にも付けること。
なお、跳躍競技の競技者は背または胸部のどちらか一方でもよい。
中学生は胸・背部はプログラム記載のナンバーと腰は自校で準備したレーンナンバーを付ける。
他の選手と同一番号がある場合は、レーンナンバーを採用する。
 - ②レーンナンバー使用については下記の種目で実施するが、招集開始前に招集所に取りに来ること。
 - 3点・・・1500m以上の中長距離種目（競歩含む）
 - 腰のみ・・・100m（決勝）、800m（決勝）、400m Rアンカー（決勝）、1600m Rアンカー（決勝）
4. トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載順による。
5. 以下の種目は予選記録上位8名が決勝進出とする。
男女200m、400m、800m、1500m、ハードル種目
6. 5000m・10000m・競歩種目は参加人数により男女同時スタートで実施する場合がある。
参加人数にかかわらずタイムレースとする。
7. 棒高跳・走高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（ただし、天候等で変更もあり得る。）
走高跳

区分	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後、以下の様にあげる 男子は3cmずつ 女子は2cmずつ
男子	1.65	1.70	1.75	1.80	1.84	1.88	1.92	1.95	
女子	1.35	1.40	1.45	1.50	1.54	1.58	1.61	1.64	

 棒高跳

区分	練習	1	2	3	4	5	6	以後10cm ずつあげる
男子	3.00,3.50,4.00	3.10	3.30	3.50	3.70	3.90	4.00	
女子	1.50,2.50	1.60	1.80	2.00	2.20	2.40	2.50	

 〈*三段跳びの踏切線は砂場より男子12mとし、女子は9mとする。〉
8. 競技用具は競技場備えている用具を使用するが、用具がない場合は検定後、借り上げとする。
9. 本大会で8位までの入賞者は第63回北陸陸上競技選手権大会（福井県開催）の出場権を与える。
表彰式は行わないが1位～3位までに賞状とメダルを授与するのでロビーへ取りに来ること。
10. その他
 - ①スパイクのピンは、トラック競技は9mm以下、フィールド競技は12mm以下とする。
 - ②競技中に発生した傷害については、応急処置のみ主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
 - ③競技場内に商品名のついた衣類、バックを持ち込む場合は日本陸連ルールブック「競技会における広告物及び展示物に関する規定」に従うこと。
 - ④ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で使用することや所持することは助力とみなすので、最終点呼を受けた後は、使用所持

はしないこと。失格の対象となる。

⑤県外登録者の競技参加の扱いは大会要項に準ずる。

⑥男女5000m競歩は制限時間を設ける。(男子30分・女子35分を超えて次の周回に入らない)

⑦フィールド種目は参加人数により計測ラインを設けることもある。その場合は大会時に案内する。